

会 議 録

会議名	平成 22 年度 第 5 回丸亀市自治推進委員会
開催日時	平成 23 年 2 月 17 日(木)午後 1 時 30 分～午後 2 時 15 分
開催場所	丸亀市役所 別館 5 階第 1 会議室
出席者	(出席委員) 鹿子嶋 仁 (会長)、高木 明美 (副会長)、赤熊 一弘、秋山 朋子、石原 茂、大原 久美子、喜多 壽子、実原 伸子、砂古 敏之、塚本 修、西川 泰徳、山本 珠美 (欠席委員) 天野 裕子、秋山 千枝、大山 治彦 (事務局) 企画財政部長 大林 諭、企画課長 矢野 律、企画課副課長 小山 隆史、企画課担当長 徳田 明香、企画課主任 中原 直樹
議 題	・ 議事 1.自治基本条例の検証について ・ 検討結果報告書 (最終案) について
傍 聴 者	1 人
発 言 者	議事の概要及び発言の趣旨
企画課長	ただいまから平成 22 年度第 5 回自治推進委員会を開催します。 本日は大変お忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。 それでは、まず初めに、会長よりご挨拶をお願いします。
会 長	本日は、報告書を完成させたいと考えておりますので、ご審議よろしく お願いします。
企画課長	本日の会議については、「丸亀市附属機関設置条例」第 7 条第 2 項により、「 附属機関の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。」と規定されて おりますが、委員総数 15 名中 12 名の委員に出席いただき、過半に達して いますので会議の成立をご報告させていただきます。 次に、資料の確認をさせていただきます。 【当日配布資料】 なし 【既送付資料】 ・ 丸亀市自治基本条例の見直しに関する検討結果報告書 (最終案)

<p>会 長</p>	<p>以上です。</p> <p>それでは、会議の進行は会長にお願いします。</p> <p>議案は、「丸亀市自治基本条例の見直しに関する検討結果報告書（最終案）」についてであります。これについてご審議いただき、報告書を完成させたいと考えておりますので、よろしくお願いします。最終案では、前回の議論を踏まえ、事務局で修正いただいております。まずは、最終案について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の素案からの修正点等について説明 <ol style="list-style-type: none"> 1.かがみの文書を作成した。 2.提言内容を箇条書きにして、四角の枠で囲み分かりやすくした。 3.「ですます調」を「である調」に改めた。 ・ 最終案送付後、事務局にて修正した点について説明。 <ol style="list-style-type: none"> 1.表紙で「…検討結果報告書」を「…検証結果報告書」に修正。 2.P3、『広報「まるがめ」』を『広報「丸亀」』に修正。 3.P8,9、四角の枠内「検証」を「提言」に修正。 4.P5、12行目「今後も参加してみないと思わない」を「今後も参加してみたいと思わない」に修正。 5.P8、市民公益活動の提言内容に「市民や市の提案を具体的な事業など形にするためのコーディネータや中間支援的活動を行う団体の育成に努める。」という内容を追加。 6.資料部分について、「資料編」として別綴じにした。 <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>企画課長</p>	<p>追加説明させていただきます。</p> <p>2月14日(月)に議会の総務委員会で勉強会がありました。そのときに、何点かご意見をいただいておりますので、主だったものをご報告させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民・議会・市の間で意見調整ができるような条文があってもいいのではないか。 ・ 他の自治体の条例では「市民が主体となって」という表現がかなり強調されているが、本市の条例でももう少し強調してもいいのではないか。 ・ 協創のまちづくりを実現するためには、コミュニティがまちづくりの主体

	<p>であることが望まれる。コミュニティが住民自治組織になるよう、条文化してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 17条（政策形成及び実施過程への参画）、23条（説明責任及び応答責任）について、実効性が担保されているのか。 ・ 第26条（財政の健全性の確保）について、もう少し市民にわかりやすいような公表内容を考えてみてはどうか。 ・ 認知度向上に向けた取り組みをやっていかなければならない。 ・ 17条（政策形成及び実施過程への参画）について、ほとんどがアンケートで終わってしまっているのではないか。市民に意見を直接聞くといったことをもっとすべきではないか。 ・ アンケートの回収率について、もっと回収率を上げる取り組みが必要ではないか。 ・ 地域への関わりについて、例えば、地域担当職員の配置など、もっと積極的に検討するべきではないか。 ・ 自治会加入率について厳しい状況であるが、地域の組織づくりや環境づくりをサポートするべきではないか。 <p>他に何点かありましたが、主だったものは以上です。</p> <p>こういった意見を受け、市としては真摯に受け止め、改善できるところはしていくべきだと考えております。今のご意見なども踏まえ、ご審議いただければと思います。よろしくお願いします。</p> <p>議長</p> <p>議会でも自治基本条例について、活発にご議論いただいているようです。各方面で、それぞれの立場から話し合いが行われることは、大変結構なことだと思います。それでは、今のお話も踏まえ、ご意見をいただければと考えます。</p> <p>それでは、最終案について、お一人2、3分程度で感想やご意見をいただけたらと思います。それでは、山本委員からお願いします。</p> <p>山本委員</p> <p>P9の一番上「課題」となっていますが、これは「検証」でよろしいのでしょうか。それと、つまらないことですが、P5の最後、句点が抜けています。</p> <p>事務局</p> <p>そうですね。訂正しておきます。</p> <p>山本委員</p> <p>検証と提言がはっきりと分かれていて、読みやすくなっており、それ以上付け加えるところはないと思います。</p>
--	---

砂古委員	<p>読んでみて、よく出来ていると思いました。この提言書は分かりやすくなっていると思います。市民の皆様が読んで関心を持っていただける内容だと思しますので、これで結構です。</p>
秋山朋委員	<p>私も分かりやすくまとめてもらっていると思います。私たちみたいに見直しに参加している人だけでなく、参加していない人にもわかりやすくなっているのではないのでしょうか。もっと多くの人がこういった会に参加できるような方法があれば、自分の住んでいる丸亀をどのようにすればいいか、というところまでいくのではないかと思います。自治基本条例の見直しに関われてよかったと思います。</p>
喜多委員	<p>最初は自治推進で何、という感じでした。すべて理解できたわけではないですが、丸亀のまちを住みよくする取り組みに参加できてよかったと思います。報告書は自治推進を全然知らない人でも、分かりやすくなっていると思いますので結構です。ありがとうございました。</p>
塚本委員	<p>非常に良く出来ていると思います。今度、地元での説明会があって説明できるか心配ですが、内容はこれでいいのではないのでしょうか。</p>
実原委員	<p>前回より分かりやすくなっていると思います。提言も分けていただいて、よかったと思います。自分たちの地域で何かあったときに、参考にしたいです。</p>
赤熊委員	<p>私も皆さんと同じです。最後にこういう形で終わって良かったです。ただ一つ、これが市長に提出して、それがどのような形で返ってくるのか、その検証をどうするのか気になるところであります。私たちが意見を出してつくったものがどうなるのかは、やはり興味があります。</p>
事務局	<p>報告書は、市全体に関するものと担当部局で検討するもの色々ですが、それぞれ進行状況を委員会にも報告させていただき、再度検証しながら進めていきたいと考えております。</p>
石原委員	<p>大筋は大変りっぱで言うことはありませんが、小さいことで2、3点あります。P2の下から2行目のほうで、「…32.3%と」ありますが、この「と」という部分を前後の繋がりから「が」としてはどうですか。それと、3Pの学校教育の件で、広報紙を「紙」を使って表現していますが、これは「誌」で</p>

	なく、「紙」でいいのでしょうか。
事務局	広報紙の場合、「紙」を一般的に使います。
石原委員	わかりました。それと、P9で「コーディネーター」や「ファシリテーター」という言葉がありますが、皆さんに分かるのでしょうか。
事務局	これについては、もっと分かりやすい表現に改めたいと思います。
会 長	P8で提言を追加する部分も同じ言葉がでしたが、これも同じですね。
事務局	そうですね。
石原委員	アンケートの回収についてですが、催促の葉書きを出してみてもどうですか。もっと回収率が上がるのではないのでしょうか。二重に出すことで啓発の効果も生まれると思います。36%に満足せず、頑張ってください。
大原委員	私も最初分からずにいましたが、読みやすくまとめられていて改めて読むと、「こういうことだったんだ」と思い出すことができます。大きな漠然としたことだけでなく、細かいところも掘り下げることができてよかったと思っています。さきほどの報告でもあったように議会でも検討されているみたいで、横の繋がりも生まれてよかったのではないのでしょうか。あとは折角ここまで出来たものをどう活かすかにかかっていると思います。
西川委員	課題に対する提言がたくさんあるので、先が少し心配です。これからどう展開するのか気になります。報告書にするのは簡単でも、それをどう実行していくかは難しいと思います。一つ一つどうなっていくかが興味あるし、知りたいという思いです。
高木委員	一つだけですが、さきほど、市民公益活動の部分で提言を追加いただきましたが、内容的にはもう少し、丸亀市としての体制づくりということも考えていていただきたいと思います。
会 長	先にご了解いただきたいのですが、報告書については2月25日（金）に私と副会長が代表して提出させていただきます。それと時間がないので、今日出された文言の修正等は事務局にて修正いただくということで、ご

	<p>一任いただけたらと思います。皆様のお話から、体裁は前回よりかなり修正されていて、良くなったという感想だと思います。それと、重要なお意見として、提言をしたあとの市の取り組みについて、興味がありますし、委員会としても知っておくべきだと考えます。その後の取り組み状況については、進行管理して、チェックできる仕組みを考えるということになります。これについては、残された課題ということになるでしょう。本日の議案は以上です。それ以外に事務局で何かありますでしょうか。</p>
事務局	<p>今後のことですが、最終的にまとめた報告書は後日、皆様へ送付させていただきます。また、職員アンケートにつきましても、現在集計中ですが、取りまとめができましたら、関心もあると思いますので、別途送付させていただきます。</p>
企画課長	<p>それでは今回の委員会が皆様の任期中における最後の委員会になりますので、部長よりご挨拶させていただきます。</p>
企画財政部長	<p>【謝辞を述べる】</p>
赤熊委員	<p>議会からは「市民が主体の表記になっていない」、「コミュニティが主体とならないと協創が生まれない」とか色々な意見があったようですが、私もこの会で一度、「危機管理規定がない」という点について発言して、報告書の中のその他のところに載せていただいております。丸亀市の憲法という位置づけなので、それを変えるとなると大変なことだと思いますが、条例をもう少し分かりやすい表現に今後改めるという方向でいくのかどうか、個人的には興味があります。次期の推進委員会に引き継ぎということでもいいので、今後検討課題として考えていただきたい。</p>
企画財政部長	<p>おっしゃるとおりです。まずは、今回の検証内容を尊重させていただき、今後進行管理をしていく中で、次期の推進委員会でも報告させていただく予定ですし、議会へもその都度、報告していくことになります。赤熊委員さんのおっしゃるように、報告書以外でもまだまだ問題はあると理解しております。今後は次回の見直しに向け、議論を充実させていきたいと考えておりますので、皆様におかれましては、これからも見守っていただきたいと思います。</p>
会 長	<p>それでは、本日の議題は以上となります。</p>

	<p>最後になりますので、私のほうからもひと言お礼を申し述べさせていただきます。2年間ありがとうございました。最後に報告書がまとめることができましたのは、皆様の積極的なご議論のお陰であります。先ほども申しましたように、これからこの報告書がどのように活かされるか大事であります。私たちが作成した報告書をベースに議論や検証が進むのだと思います。皆様におかれましても、丸亀市の自治がどのように推移していくのか、注目していただけたらと思います。ご迷惑をお掛けしましたが、ご協力ありがとうございました。</p>
--	--